

『「リングポルタ」アンケート』の結果とその分析

The Result of ‘A questionnaire for “LINGUAPORTA”’ and its Analysis

阿部幸一†
Koichi ABE

ABSTRACT: We got the grant in Special Aid for Educational/Research Purpose (Kyoiku/Kenkyu Tokubetsu Josei) from A.I.T. in this academic year. In order to execute the electrical use of the common textbook:“Eibun-Dokkai 36 no Tobira” for English Communication A, B, we introduced the Seibido’s “LINGUAPORTA”, which is the web study support system. Since we got the grant, we made out practice exercises with the Seibido. “LINGUAPORTA” itself was introduced in September of the last year. However, we used it as a trial, preparing for the full-fledged operation of the next academic year. Therefore, we used “LINGUAPORTA” only for half a year. However, we can know various things about it through the questionnaire for “LINGUAPORTA”. We also can analyze its result.

1. はじめに

平成25年度の教育・特別助成の援助を受けて、本学英語コミュニケーションA, Bの教科書である、『英文読解36の扉』(学術出版図書)の内容の一部を、CALL教室(10号館3階 G2309)での授業、及び自学自習のためにコンピュータ学習が利用できるようにするために、英語教科書出版社の成美堂のweb学習支援システム「リングポルタ」を導入した。具体的には、本書の第2章「基本英文法」、第3章「基本英単語・用例集」、第4章「テスト集」の計三章を、「リングポルタ」に組み込むために、選択問題を共同で製作した。

「リングポルタ」とは、コンピュータを用いた、電子化された練習問題であり、学生は各自のレベルに合わせて無作為に出されるクイズ形式の出題を、いわばゲーム感覚で反復回答することによって、英語力の増強を図るものである。

『英文読解36の扉』に基づいた練習問題は、1) 語彙問題(単語の意味として正しいものを選択する)、2) 空所補充問題(空所に適切な英単語を入れる)、3) 整序問題(英文を正しく並べ替える)、4) リスニング問題(英文を聞いて空所に正しい英単語を綴る)、の4種類で、学生が自分で取り組みやすい内容となっている。特に4番目の音声問題は、従来の教科書にはなかったもので、ネイティブの発音に慣れることにより、英語を聞き取る能

力の増強に繋がると思われる。

後期に入り、常勤及び非常勤の英語の教員を対象に、「リングポルタ」の導入のアナウンスを行った。今回は、年度途中ということで、いわば試行的な導入として、英語コミュニケーションBと英語コミュニケーションD担当の先生のみを対象にした。

特別助成の報告書作成の基礎資料として、「リングポルタ」のアンケートを、後期の最後の授業日またはA日程期間中の1月後半から2月初めの間に行った。今回の「リングポルタ」の導入に際しては、英語コミュニケーションB及びDに限定したので、対象はこれらの科目を履修している学生だけである。(回答数は、1年生、2年生合わせて1365名)

2. 英語コミュニケーション B, Dのクラスでのアンケート結果および分析

このクラスでのアンケートの内容は次のようである。(数字は回答者数)

『リングポルタ アンケート(通常のクラス用)

「英文読解36の扉」の電子版の練習問題について、伺います。(1365名)

1. リングポルタの練習問題に取り組みましたか。
 - a. 取り組んだ(764名)
 - b. 取り組まなかった(601名)

○上でaと答えた人にお聞きします。(複数回答可)

2. リングポルタの練習問題は、有益でしたか。
 - a. 有益だった(271名)

† 愛知工業大学 基礎教育センター (豊田市)

- b. 楽しくできた (156 名)
- c. 成績と関係があるので仕方なくやった (296 名)
- d. 面白くなかった (181 名)
- e. 負担が大きかった (150 名)
- f. 今後ともつづけて取り組みたい (31 名)
- g. その他

○上で b と答えた人にお聞きします。(複数回答可)

3. 取り組まなかった理由はなんですか。

- a. 難しいそうだったから (121 名)
- b. 時間がなかったから (315 名)
- c. 成績にあまり影響がなさそうだったから (67 名)
- d. 興味がなかったから (153 名)
- e. その他

○リングポルタについて意見があれば、書いて下さい。
(98 名)』

以上の内容で調査を行った。

まず 1 の設問に対して、a)「取り組んだ」と b)「取り組まなかった」に大きく分けて、取り組んだ学生数と取り組まなかった学生数を割合で見ると、取り組んだ学生が 56%、取り組まなかった学生が 44%で、取り組んだ学生が幾分多かった程度。これは、年度途中でのリングポルタ導入だったので、教員及び学生にとっても、あまり徹底できなかったためであると考えられる。しかし、これに関しては、来年度からは、一年生の英語コミュニケーション A、B に関しては、シラバス上に、「リングポルタ」を成績評価の根拠となる授業態度 40%のうち、10%を計上することによって、学生の積極的な参加を促せると思われる。但し、二年生の英語コミュニケーション C、D、E、F に関しては、「リングポルタ」の使用は、担当教員に一存することになったので、こちらの方の参加者はあまり期待できないように思われる。

次に、取り組んだ学生の内訳を見ると(複数回答)、a)「有益だった」と回答したものと、b)「楽しくできた」と回答したものと、f)「今後ともつづけて取り組みたい」と回答したものを合計すると、458 名となり、取り組んだ学生の約 60%が友好的な回答をしている。一方、c)「成績と関係があるので仕方なくやった」と回答したものと、d)「面白くなかった」と回答したものと、e)「負担が大きかった」と回答したものを合計すると、627 名 (82%、複数回答) が否定的な回答をしているので、取り組んだにも関わらず、仕方なくやったという印象がある。そこで、いかに「リングポルタ」に興味を向けるかが今後の課題と思われる。

その他の意見としては、コンピュータの環境に関わるものが 1/3 近くあり、特にスマートフォンや自宅のコンピュータからアクセスできないというものが結構あった。これについては、成美堂と話し合ったが、「リングポルタ」

は Word 中心のネット環境に基づいて作動しているのも、まだ MacOS には対応できていないとのことで、MacOS に対応できるようにしようとする莫大な費用が掛かかり、愛工大だけの問題でなくなる。よって、これは現状ではやむを得ない問題かもしれない。次に、ネットの環境に関する意見が 10 名ほどあり、特にコネットや moodle との関係で、「リングポルタ」をこれらのページにリンクを張ってほしいというのがあった。そこで早速、その点を計算センターに問い合わせたところ、コネットにリンクを張ると、特別な費用が掛かるということだった。そこで、費用が掛からずに、学生が「リングポルタ」のページを知るのに良い手段がないかと伺ったところ、コネットの「お知らせ」のところに、例えば「リングポルタの接続」というような項目を立てて、期間を 1 年ぐらいにしておけば、学生はその期間見ることができるとの回答だった。そこで、この手段を使えば、学生のサービスの向上になると判断し、来年度の 4 月から採用する予定である。それ以外は、個人的な感想に留まるものが多かったので、割愛する。

3. CALL 教室における「リングポルタ」使用のクラスでのアンケート結果および分析

次に、私の CALL 教室での授業では、授業時間中に実際に「リングポルタ」を使用している、2 年生のクラスの学生に対してもアンケートを行った。但し、こちらはすでに「リングポルタ」を取り組んでいる学生なので、質問内容もより具体的なものとなった。

『リングポルタ アンケート (CALL 教室用) (33 名)

1. あなたは、真剣にリングポルタの練習問題に取り組みましたか。
 - a. そう思う (11 名)
 - b. どちらかといえばそう思う (18 名)
 - c. どちらともいえない (8 名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (1 名)
 - e. そう思わない (0 名)
2. リングポルタの練習問題は、授業内容に適切でしたか。
 - a. そう思う (12 名)
 - b. どちらかといえばそう思う (15 名)
 - c. どちらともいえない (3 名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (2 名)
 - e. そう思わない (1 名)
3. リングポルタの練習問題は、操作が簡単でしたか。
 - a. そう思う (15 名)
 - b. どちらかといえばそう思う (8 名)

『「リングポルタ」アンケート』の結果とその分析

- c. どちらともいえない (6名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (1名)
 - e. そう思わない (1名)
4. リングポルタの練習問題は、取り組み易かったですか。
- a. そう思う (14名)
 - b. どちらかといえばそう思う (11名)
 - c. どちらともいえない (5名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (2名)
 - e. そう思わない (1名)
5. リングポルタの練習問題の量、質は適切でしたか。
- a. そう思う (5名)
 - b. どちらかといえばそう思う (16名)
 - c. どちらともいえない (5名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (6名)
 - e. そう思わない (1名)
6. リングポルタの練習問題は、分かり易かったですか。
- a. そう思う (13名)
 - b. どちらかといえばそう思う (12名)
 - c. どちらともいえない (3名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (4名)
 - e. そう思わない (1名)
7. リングポルタの練習問題によって、英語力の増強になったと思いますか。
- a. そう思う (11名)
 - b. どちらかといえばそう思う (15名)
 - c. どちらともいえない (3名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (3名)
 - e. そう思わない (1名)
8. 総合評価として、リングポルタの練習問題は有益でしたか。
- a. そう思う (15名)
 - b. どちらかといえばそう思う (13名)
 - c. どちらともいえない (4名)
 - d. どちらかといえばそう思わない (0名)
 - e. そう思わない (1名)

その他、意見があれば、書いて下さい。(2名)』

このアンケートから、1の「学生が真剣に取り組んだかどうか」の質問には、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」が、72%を占めているので、学生は練習問題に真剣に取り組んだと言えそうである。2の「練習問題が授業内容に適切だったか」の質問に対して、「そう思う」と「どちらかというところ」が81%だったので、「リングポルタ」を使った練習問題が、授業のアシスト

になっていることが伺える。特にこのクラスでは、リスニングを中心としているクラスで、しかも「リングポルタ」からの練習問題では、ディクテーションの問題を中心にやらせたので、こういった回答を得られたのだと思う。3の「操作が簡単だった」の質問には、「そう思う」と「どちらかというところ」は69%で、おおむね問題がないと思われる。4の「取り組みやすかったかどうか」の質問には、「そう思う」と「どちらかというところ」が75%だったので、まずは一安心である。5の「問題の量、質は適切だったか」の質問には、「そう思う」と「どちらかというところ」が63%で、他に比べると幾分低いので、幾分問題数が多かったかもしれない。6の「練習問題が分かりやすかったか」の質問には、「そう思う」と「どちらかというところ」が75%をしめているので、学生には適切だったと思われる。7の「リングポルタの練習問題が、英語力の増強に役立ったか」の質問には、「そう思う」と「どちらかというところ」が78%なので、「リングポルタ」が英語力の増強に役立ったと言えそうである。8の8リングポルタの総合評価については、「そう思う」と「どちらかというところ」が84%とかなりの高い評価を得ているので、「リングポルタ」を導入した意味があったと言える。これらのクラスでは、小人数で、しかもTOEIC意識したリスニングの授業だったので、こういった好印象を受けたのだと思う。その他の意見は省略。

4. まとめ

今回の教育・研究特別助成の援助を受けて導入された「リングポルタ」は、いわば時代の趨勢としてのコンピュータによる英語力の増強の手段であり、教室だけでなく自宅でも学習できる点では、明らかに進歩が見られると思う。私のリスニングに特化したクラスでは、かなりの好評を得たが、これは多分にCALL教室で、授業中にリングポルタを操作できた点が挙げられると思う。その点、教室内でコンピュータを操作できないクラスでは、幾分問題が残る。只、CALL教室で行ったような、リスニングに特化した使い方ではなく、語彙問題や整序問題などを使えば、英語があまり得意でない学生に対しても、リングポルタの持つ、いわばゲーム感覚的に英語を勉強するという面を活用すれば、必ず基礎力が上がると思う。残る問題は、通常の授業とリングポルタの関係であり、個々の先生の判断に任すしかないが、先生および学生にとっても負担にならないように、適切に扱うことが肝要と思われる。

(受理 平成26年3月19日)